野球場が新しく生まれ変わりました

## 雨竜川総合運動公園野球場で落成セレモニー 7/12

昨年から行われていた大規模な改修工事が完了したことから、７月１２日（日）雨竜川総合運動公園野球場で沼田町軟式野球連盟（山田英次会長）が主催して落成セレモニーが開催されました。

午前中は連盟に加盟している５チームに沼田中学生のチームが加わりトーナメント選が行われ「NBA」チームが優勝しました。

午後からは落成セレモニーと、小学生を対象とした野球教室が開催され、集まった各チームの選手が技術やメンタルでの面について細かく丁寧に指導していました。初めてボールを投げたり受けたりする子供も楽しそうに取り組んでいました。

▲参加者で記念撮影

まちのこれからを考える

## ぬまたの若者によるワークショップ 7/17

▲多くの参加者で盛り上がりました

７月１７日（金）～ぬまたの若者が考える「まち」のこれから～と題し、ゆめっくるにおいてワークショップが行われました。

町総合戦略策定の一環として、ワークショップの企画から当日のパンや飲み物の提供まで、町内の有志の方々にご協力いただき、職域や友達同士のグループ・中学生などを含めた若者５０名が１０のテーブルに分かれ、５年後の「ぬまた」の未来の姿を想像し、軽食をとりながら気軽に話しやすい雰囲気の中で意見を出しあう「カフェスタイル」でのワークショップを行いました。

参加者からは「リーズナブルな居酒屋があったら、もっと交流が活発になる」「ドックランや動物と触れ合える施設があれば、町外からも人が来る」など、若者らしい積極的な意見を発表し合いました。



雪山も登場

## いこいの広場開催 7/23

７月２３日（木）～２４日（金）の２日間、「町民いこいの広場」が開催されました。

開園式で商工会青年部の川嶋部長は「子どもたちにとってこのイベントが楽しい夏休みの思い出になるように頑張ります」と挨拶。

１日目は法被を着た保育園児の太鼓演奏や、小中学校のブラスバンドの演奏、お宝まきが行われました。会場に用意された水遊び場では、子どもたちがずぶ濡れになりながらはしゃいでいました。

また、この日は日赤奉仕団が「非常食炊出し訓練体験コーナー」を設け、特殊な袋を使って炊いたお米の試食を行い、食べた人たちは「炊飯ジャーと全然変わらない」と美味しそうに食べていました。

▲雪山で遊ぶ子供たち

野菜販売やステージショー

## とむとむ祭り～まちなか賑わい夕市～ 7/30

▲一世一代時代組のステージ

７月３０日（木）駅前とむとむ広場で新鮮野菜の販売や焼き鳥、ビールなどの屋台が並んだ「とむとむ祭り＆まちなか賑わい夕市」がまちなか賑わい夕市事業実行委員会の主催で開催されました。

当日は雨が降る中での開催となりましたが野菜の販売や飲食店の屋台、ホタテが当たるダーツ、「沼田吹ガールズ」や札幌の「一世一代時代組」が唄・殺陣を披露しステージを盛り上げました。

元気な沼田町のために

## 地域おこし協力隊へ委嘱状の交付 8/3

８月３日（月）に新規採用の地域おこし協力隊員へ委嘱状の交付が行われました。

地域おこし協力隊員とは、地域おこしや地方での起業などに興味のある都市部の住民を地方自治体が公募・委嘱した隊員の事で、平成２１年度に国において制度化されています。

委嘱された隊員は、地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事し、併せてその定住・定着を含めて地域活性化を目指します。

沼田町で５人目となる委嘱を受けた阿部公樹さんは、札幌市出身で現在は農産加工場で業務を行っています。

▲委嘱を受けた阿部さん

障がい者福祉のさらなる増進を目指し

## 空知地区身体障害者福祉沼田大会

8/6

▲上野さんの講演の様子

８月６日（木）町民会館で、空知地区身体障害者福祉沼田大会が開催されました。

障がい者福祉の増進を図ることを目的に、空知管内から２２０名が参加し、「共に助け、励ましあい、みんなで築こう福祉のまちづくり」をスローガンに、記念式典や講演会などが開催されました。

「沼田吹ガールズ」や「歌声サークル」の演奏や「おわら踊り同好会」の踊りも披露され、午後からは健康生きがいづくりアドバイザー北海道協議会顧問の上野正志さんの講演が行われました。

晴天の中で開催

## 消防ちびっこ広場

8/8

８月８日（土）役場前の駐車場で、「第２２回消防ちびっこ広場」が開催されました。

消防ちびっこ広場では、毎年多くの体験コーナーや催しを用意しており、的に向かって放水を体験する「放水コーナー」や、本物の消防車に乗れる「乗車コーナー」、かき氷、フランクフルト、スーパーボールすくいなど無料縁日コーナーなど、集まった多くの子供たちで賑わいを見せていました。

▲沢山の子どもたちで賑わいました

今年のトマトも美味しく育ちました

## 農産加工場でトマトの初入荷

8/10

▲金平町長からご祝儀を受け取る高儀さん

８月１０日（月）北のほたるファクトリーにて、今シーズン最初のトマトが入荷しました。

北のほたるファクトリーは、平成２６年度から操業を開始。これまで製造していたトマトジュースに加え、新たにトマトケチャップやトマトピューレなども製造し、道内はもちろんのこと、道外、海外からも高い評価を得ています。

今回入荷されたのは、北竜３行政区の高儀好明さんが生産した約２００kgの真っ赤に熟したトマト。初入荷の記念として、生産者の高儀さんには金平町長からご祝儀が手渡されました。